

やり方・仕組みの改革で生産性の高い市政を



自民党新政会 丸山 哲平

しごと改革、立席会議の導入について

丸山) しごとの生産性向上は、単なる掛け声だけでなく具体的にやり方を変えなくては実現出来ない。こうした観点から昨年私より立席会議の導入を提案した。その後取り組みはどうか。行政改革等担当部長) 今年4月より9月末まで試験的に昇降デスクを借用し検証を行なっている。利用者からは、時間の短縮や発言しやすくなった等の回答があり、一定の効果があると考えている。今後さらなる検証のため、設置場所や台数を増やすことや個人用昇降デスクの導入等について調整して参りたい。

職員の健康管理と人事評価について

丸山) 職員が健康に職務に臨む環境整備は本人は当然のこと受益者たる市民のためにも必須と考える。健康診断受診を人事評価の対象とすべきと考えるが、現状どうなっているか。

総務部長) 現状では対象となっていない。もっとも健康管理は仕事をする上での土台と考えており、指摘を受けとめ考えて参りたい。

丸山) 検討を進めて欲しい。いい仕事をする前提として受診は基本動作と考える。民間では適切に健康診断を受けることで人事評価でプラスとする取組みが出てきている。健康管理において先進自治体となることで職員のやる気や熱意をさらに引き出すことにつながると考える。

所得による学力格差問題について

丸山) 所得による学力格差問題が巷間伝えられているが、市では所得と学力の相関関係について客観的なデータ等は把握しているのか。

教育長、福祉部長) 把握していない。

丸山) まず重要なのはデータの把握である。私自身は競争を肯定的に捉えているが、それは競争機会が担保された上での話である。まずは所得階層毎の児童数といった基礎データを把握して頂きたいと考えるがどうか。

福祉部長) 個人情報取り扱い等の課題があり難しい部分もあるが、研究して参りたい。

その他 交通不便地域、ブロック塀等を質問。

西町一丁目とひかりプラザ北の道路について



自民党新政会 尾澤 しゅう

【西町一丁目のボトルネック解消について】

尾澤) 西町一丁目の特別養護老人ホームサンライト北側にある道路上のボトルネック解消に向けて、防衛省や立川市との協議の進捗状況を教えてください。

答弁) 協議を通して防衛省からは当該土地のセットバックに対する一定の理解を得ることができました。今年度中に境界がまたがっている立川市と整備方針をまとめ再度、防衛省と協議していく予定です。整備の時期については、開発行為が行われている隣接地と合わせて供用開始できるようにしていきたい。

【ひかりプラザ北側道路の舗装について】

尾澤) 当該道路は昭和51年に全面舗装をしてから応急的な対応でしか舗装を行ってきかないため、相当傷んでおり、生活する上でも、ひかりまつりなどの各種イベントを行う上でも支障がある。今後の整備の方針について伺いたい。

答弁) 今年度に測量設計委託を予定しており、来年度には舗装工事ができるように調整を進めていきたい。

【国立駅北口のロータリーについて】

尾澤) 現在の工事終了時期はいつ頃になるのか。

答弁) 工事終了は平成31年1月の予定です。

尾澤) 新しくできた市民サービスコーナーやぶんなびの案内看板を、ロータリーに早期に設置

を求める地域の声があるが、設置予定についてわかっている範囲で教えてください。

答弁) 現在、国立駅周辺地区の案内板というものを設置する予定です。そこにはくにたち・こくぶんじ市民プラザやひかりプラザ、鉄道総研等についても掲載予定とのことです。

【MICEの誘致について】

尾澤) MICEとは多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。今後、市民税以外の財源確保のために、中小規模MICE等を誘致するような政策を行っていく必要がある。

答弁) 観光協会、商工会とどのように連携できるか研究して参りたい。

災害から市民を守る為に出来る事を



自民党新政会 田中 政義

はじめに) 9月6日に発生した北海道の大きな地震、また7月に西日本地方を襲った、過去に例のない甚大な被害をもたらした豪雨により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、今なお避難生活を余儀なくされている方々に心からお見舞い申し上げます。

まさに災害大国日本と言われるとおり、異常気象に伴って全国様々な地域で災害が発生しており、国分寺市も決して例外ではないと思います。想定以上の被害が発生するという事を十分に意識して万全の対応を図って頂きたく、国分寺市の防災について質問しました。

1. 総合防災訓練について

問) 毎年様々な訓練項目を導入し、その時々合った内容で実施されているが、今年度新たに取り入れたもの、またその成果はどうだったか。

総務部長) 国分寺消防署、東京消防庁の協力によりVR防災体験車による仮想現実の体験、またNPO法人によるドローン空撮映像の中継を行った。体育館では避難所体験コーナーを設け、在宅避難と避難所生活の差異、公民館との連携など市民が様々な体験をすることで防災意識の向上が図られたと考えている。今後も内容を精査し、市民の防災に対する意識と知識の向上が図られる訓練を検討していく。

2. 水防対策について

問) 現在、大雨洪水警報などが発令された場合、市内の地域への対応はどうなっているか。

総務部長) 建設環境部が市内を4つのエリアに分けて監視・警戒活動を行うほか、まちづくり部が土砂災害警戒区域や危険個所の巡視に当たる。さらに、消防団の各分団も管轄区域の警戒・監視に当たっている。

田中) 市民の安全を守ることは職員の責務であると考えている。今後も庁内連携をしっかりと図って職務に邁進して頂きたい。私も議員として消防団員として共に全力で活動していく所存である。

地域特性に応じた全市域的まちの魅力発信を



無党派 木村 徳

木村) 市東部は国分寺駅前再開発や、宇宙開発発祥の地として盛り上げているが、西部も新幹線を活用しての地域おこしをすべきだ。そこでひかりプラザ敷地にある新幹線資料館の更なる保存・活用を行うべきだが、例規上の位置づけがなく、まずは例規整備をすべきだ。

教育部長) 指摘の通り曖昧な状況だ。速やかに整理する。

木村) ひかりプラザにある新幹線車両は951系という試験車両であるが、現存する世界最古の高速鉄道試験車両であり、文化財的価値も高く文化財指定も検討すべきだ。保存のための屋根の設置等に関しては、クラウドファンディン

グを活用して財源を集めてはどうか。また、来年3月で50周年を迎え、イベント等の企画もすべきだ。

教育部長) 文化財保護審の意見を聞きながら進める。クラウドファンディングも考えていきたい。また50年イベントについても何らかの企画を考えていきたい。

木村) 新公会計制度について、その核は財政の見える化であり、1年前に事業別で財務種類を整えて提示をすべきとの指摘をしたものの、29年度決算においてはそこまでは至っていない。

政策部長) お話の通り、年度ごとの財務諸表を議会に提示して議論いただくべきであると考え

ているが実現に向け鋭意取り組んでいる。

木村) 来年度の決算審査では最大限提示できるよう強く求める。

木村) 職員の勤務時間中にスマートフォンの使用があるが、多くの場合は市のシステムの関係でパソコン動作が大変遅いために、スムーズな職務遂行の為に使用しているようだが、市民が見た場合私的使用と区別がつかない。明確なガイドラインの制定を。また一部は私的使用も実際に存在する。

総務部長) 市民に誤解されるケースもあるのでルール化を図る。私的利用は原則禁止であり徹底していく。